

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の再開発工事の一部が完成し、以前より客足が増加している。
		一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	お客様の様子	・取引先の事務所のリニューアルなど、工事の引き合いが若干入っている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・来客数や通行客数は以前よりも増えており、買物袋を持つ人の姿も多く見られる。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・間もなく発表される新車のカタログによる先行受注が進行している。カーナビ等のセットが多いため販売単価も上がり、収益に寄与している。
		住関連専門店（店員）	販売量の動き	・受注件数は全体で前年比101.3%となり、2カ月連続で前年実績をクリアした。内訳はホームファッションが同101.5%、家具が同99.9%であるが、家具の客単価は同95.7%とダウンしている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・以前に減らした運転手数を最近若干増員したにもかかわらず、日中に客を待たせる日が多くなっている。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・今月は近くの美術館がオープンしたため、人通りが多くにぎわった。
		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	単価の動き	・客の買物が特売品に集中しており、定番商品の動きが悪い。買上点数は変わらないが、一品単価が低下したため客単価がかなり下落している。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・取引先では夏場の業績不振が尾を引き、破たんや整理となる企業が最近相次いでいる。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・昨年はカシミアコートや高額品がよく売れたが、今年では来客数、単価、客の様子などのいずれを見ても、非常に厳しい状況である。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・20日過ぎまではファッション、食品、家庭用品とも秋の季節にふさわしい商品がそれなりに売れていたが、月全体で見ると台風や新潟県中越地震によるマイナスの影響が見られた。
		スーパー（店長）	単価の動き	・最近、店舗をリニューアルした結果、単価は前年比110%、来客数は同115%と伸びており、景気は決して悪くはない。また、子供関連に特化したため、この分野では前年比350%の伸びとなった。
		スーパー（副店長）	単価の動き	・台風、新潟県中越地震などのニュースにより消費ニーズも冷え込み、生鮮食品を中心に割高感がますます強まったことから単価が下落傾向にある。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・最近動きが鈍ってきたデジカメは、メーカーから新製品が発売されたため、今月は再び活気づいてきた。また、デジタル家電はそろって好調に推移している。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・400万円以上の高額車が全く売れなくなってきた。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・新型の小型車やツーボックスカーも登場したため、当社にとって従来にないユーザー層が活発に動いている。しかし、セダン系を中心とした高額の高額車がいまひとつ伸び悩んでおり、全体としては変わらない。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・地元で美術館がオープンしたため、美術関係者の会合や県外からの来客が増加している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・ひいき筋の数社の貸し切りが数回入ったため、悪かった前年より売上は3割増加した。
		競輪場（職員）	単価の動き	・来客数は若干減少しているが、1人当たり売上単価は下がっていない。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・秋の展示会場では来客数が非常に増えている。		
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量は前年並みであるが、客が決心するまでに時間がかかっており、慎重さが以前より増している。		
やや悪くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・月後半の台風と新潟県中越地震により客の購買マインドが低下し、来客数が大幅に減少した。	
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が減少している。目的買いの客は減っていないが、特にウィンドウショッピングや気に入った物があれば買うというフリー客が減少している。	

	スーパー（店長）	販売量の動き	・長雨により野菜が高騰しているため、客の購入量が少なくても売上高はカバーされている。しかし、これに付随した魚、肉、鍋物調味料などにも影響が及び、すべてが厳しい状況である。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・特に衣料品の売上が悪い。食品では来客数は変わらないが、買上点数も増えず、客単価も上がらない。客からは生活が大変苦しいという雰囲気を感じられる。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・週末には美術館のオープンによる種々の協賛イベントが行われたため、来客数が若干増加したが、平日は良くない。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・暑さが続いたうえ、相次ぐ台風や新潟県中越地震により、商店街の来客数に大きな影響が出ている。
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・新車、中古車ともに受注件数が減少している。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストランの通常営業では8月から利用客の減少が続き、大きく減収となる見込みである。3か月前と比べてもレストランの減収が激しい。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新潟県中越地震の影響が非常に大きく、新潟を始め東京方面などへの旅行のキャンセルが多発している。
	タクシー運転手	競争相手の様子	・今月は地元で美術館がオープンし、週末には1日1万人以上が来場したが、バスやマイカーで来る人が多く、期待した割にはタクシーの利用が少なかった。 ・夜の繁華街は他社のタクシーが多数待機しているため、駐車する場所がないくらいに厳しい状態であった。
	タクシー運転手	お客様の様子	・会社関係の接待やそれによるタクシーの利用が非常に減っている。
悪く なっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・婦人服のヤングキャリアファッションの客数は前年比83%で、8月の同88%より5ポイント低下している。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来客数の動きが前年同月比で2けた以上の減少となっている。なかでも、団体客や募集客などバスで移動する旅行の動きが鈍く、自然災害や天候不順などの影響もあって、落ち込みが大きい。
企業 動向 関連	良くなっている やや良くなっている	-	-
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車内装材などの非衣料分野がやや安定してきている。
	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注ロットが特別大きくなったわけではないが、小さいながらも少し動き出した。
	新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・最近のチラシサイズは大型化しており、売上も上昇している。
変わらない	化学工業（営業担当）	取引先の様子	・ドラッグストア市場では、医薬品の価格競争の激化により減収となっているが、その分を健康食品の増収によりカバーしている。
	一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・納期の長期化や当社への部品の納入難、価格の上昇などの動きがみられる。また、引き合いや受注の勢いが落ちてきた。
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・電子部品業界では依然受注は好調である。建設工事関連でも、単価は依然低いままであるが、受注量は上昇傾向にある。
	司法書士	取引先の様子	・商業登記分野では会社の設立や新しい営業の拡大などが、また不動産登記分野では新規事業に伴う不動産取得などの案件がそれぞれ減少し続けている。
やや悪く なっている	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・業界内では新商品の出荷により全体量では増加すると予想していたが、既存品の販売量の落ち込みが大きく、全体ではマイナス傾向に進んでいる。
	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・眼鏡の小売の販売状況は秋の商戦とはいえ、もうひとつ売れていないため各社とも苦勞している。その影響で産地の業界も仕事量が例年のレベルからみると、かなり落ちている。
	建設業（総務担当）	競争相手の様子	・土木工事は官民ともに引き合いが減少を続けている。民間建築工事の見積りは増加傾向にあるが、最終決定価格では原価を割って落札する業者が多く、依然として厳しい状況が続いている。
	輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・全体的に荷物の量が減っている。各社がお互いに荷物を取り合いしている状況である。

	悪くなっている	建設業（経営者）	取引先の様子	・当社が下請となっている建設会社において、支払が延び延びになり、不良債権となる可能性のある業者の数が増加している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・10月の求人広告は前年比2割程度増加している。主な要因はパートやアルバイト募集の増加である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が特に製造業で増加している。なかでも繊維工業、電気機械器具製造業などで求人が多い。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者が減少傾向で推移している。求人倍率は3か月連続で1倍台を維持しているが、臨時、パート、派遣、請負求人が増加が目立つ。しかし、一方で学卒求人が前年を5%上回っている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・機械の設計や生産管理の要員が不足している。
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・企業から内定をもらっている学生が辞退するケースが以前より多く見られ、就職活動が長期化している。
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・派遣請負業の積極的な求人募集は見られるものの、これ以外からのアルバイト、正社員の募集は少ない。	
	悪くなっている	-	-	-